

## 第5学年1組 特別の教科 道徳学習指導案

場所 5-1 指導者 角谷明彦

1 主題名 親切とは B-(7)〔親切、思いやり〕 1時間完了

教材名「道案内」 出典「きみが いちばん ひかるとき」光村図書

2 本時のねらい

- ・相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えて行動しようとする実践意欲と態度を高める。

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (3)	1 親切な行為について想起する。 ・ケガした子を保健室へ連れて行った。 ・お礼を言われてうれしかった。	・親切にしたとき、親切にされたときを思い出し、そのときの気持ちを振り返るように助言する。  ・子供たち自らの課題としてとらえることができるように、「引かかる場面」や「疑問に思った場面」を問い、その理由も簡単に確認する。
展開 (35)	2 資料の範読を聞く 3 本時の学習課題を決める。 ・「少し足りなかったのかな」と言った場面	
<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 5px;">                     ぼくの親切な行為は本当に足りなかっただろうか                 </div>		
終末 (8)	4 ワークシートに自分の考えを記入する。 5 学習課題について話し合う。 ・相手がおばあさんだということに気付くべき。 ・メモまで書いたので、十分な行為だ。 6 親切な行いをするときに大切なことを考える。 ・自分勝手な考えではだめ ・何が相手のためになるのか考える ・責任をもつ 7 具体的な場面について、自分だったらどうするか考え話し合う。 ・休み時間に一人にいる子に気が付いた場面。 ・係活動を忘れている子に気が付いた場面 ・問題がわからず困っている子に気が付いた場面	・自分の考えを整理するために、ペア対話をした後、ワークシートに記入するように指示する。 ・必要に応じて、資料を見返してよいことを助言する。  ・ぼくたちは親切な行為をしたはずなのに、すこし落ち込んでいる様子を表す教科書の挿絵を提示し、そうならないために、親切な行為をするときに大切なことが何かを考えるように助言する。 ・さっき考えた、「親切な行いをするときに大切なこと」を踏まえて意見を言えた子を称賛する。
終末 (8)	8 本時の振り返りを書く。 ・親切な行為をするときは、…	・今回考えたことで、これから生かしたいことは何なのか考えるように助言する。

4 評価

- ・主人公の気持ちを考えたり、友達の考えを聞いたりすることを通して、親切な行為とは独りよがりな行為ではなく、相手のことを思って行う行為であると気付くことができたか。(活動6、7、8の発言、ワークシート)